

# ディプロマポリシー

# 幼児教育学科 カリキュラムツリー

## 学年の到達目標

### DP①

子どもの内面を深く理解し、その成長に寄り添い、自立させていくことのできる能力を身につけている

### DP②

幼児教育学・保育学に関わる理論的知識と保育に関わる実践的知識を有し、幼児教育・保育現場での問題の解決に取り組むことができる

### DP③

保育職の重要性を自覚し、保育者として自律でき、範を垂れる人間性を有している

### DP④

社会的な常識や幅広い年齢層の人たちとのコミュニケーション能力を有し、諸問題に忍耐強く取り組むことができる

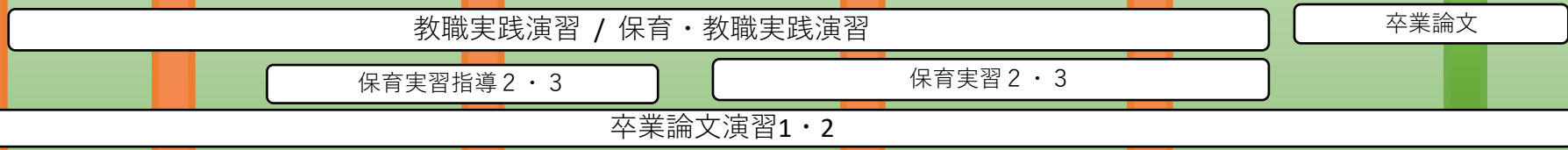
### DP⑤

幼児教育・保育現場をはじめ幼稚園・保育園・認定こども園の一員として、他者と協働しながら業務を円滑に遂行することのできる能力を身につけている

### DP⑥

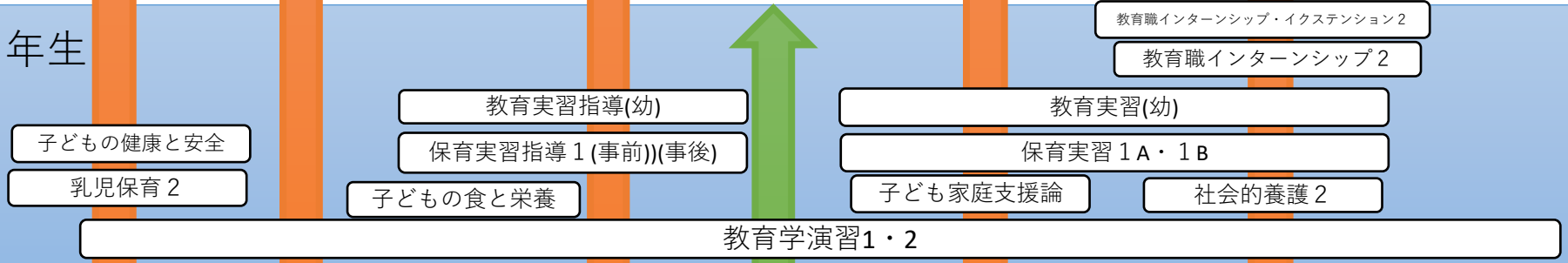
幼児教育学・保育学研究の基礎的方法論を会得し、学んだ知識を集大成して卒業論文にまとめる能力、また大学院進学希望者においては、より質の高い研究を遂行するための能力を身につけている

## 4年生



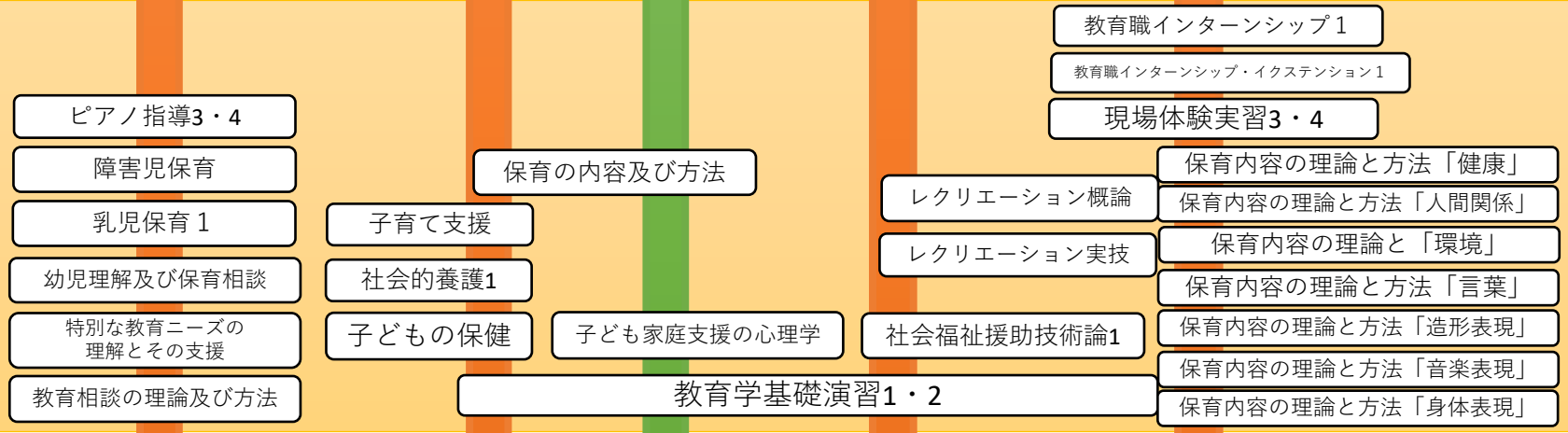
- ・ 保育・教育職に関する学びの軌跡を振り返り、自己課題を明確にし、教師・保育者として必要な実践的資質能力や指導技術を高める
- ・ 研究の進め方と実践について学び、研究を遂行し、発表・討議を通して研究成果を卒業論文としてまとめる
- ・ 4年間の大学での学びの集大成としての卒業論文を執筆・提出する

## 3年生



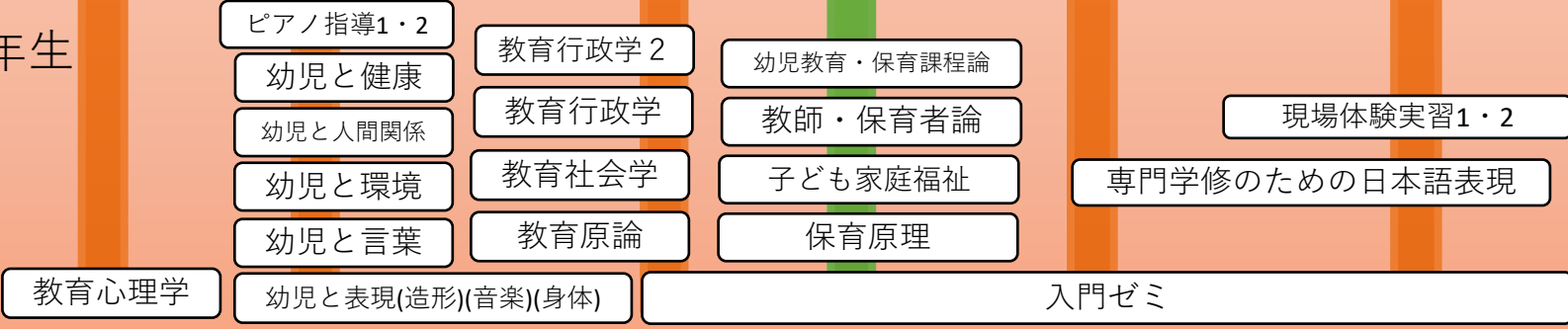
- ・ 多様化する教育・保育の現場に求められる保育者の職能について理解を深め、個々の乳幼児の発達に応じた保育実践ができる
- ・ 家族・家庭の置かれている現状や課題について理解し、保育者に求められている家族・家庭への支援について探究する
- ・ 保育・教育職の業務を理解し、自らの実践力を養うとともに、実践を理論的・客観的に整理し、自己課題を明確にする
- ・ 幼児教育・保育現場の支援・指導の実際を理解し、保育者としての資質・能力、使命感を身につけている
- ・ 教育学研究の基礎的・基本的な知識と技能を身につけ、自らの研究の方向性を模索しながら、思考力・判断力・表現力を養う

## 2年生



- ・ 子どもの心身の健康や障害のある子どもの保育の実際について学び、問題の捉え方、支援の方法について探究する
- ・ 周囲の様々な人・もの・こととの関わりの中での子どもの育ちを理解し、諸問題に対するアプローチの道筋を立てることができる
- ・ 幼稚園教育要領等に示された各領域のねらいと内容を理解し、その指導法を習得している
- ・ 世界の主要な国々の教育・保育の最新の動向や課題を知り、これからの日本の教育・保育のあり方について考察する
- ・ 現場体験を通して、保育・教育現場の体制や業務を体験・学習し、教育・保育職に必要な資質・能力について理解をしている

## 1年生



- ・ 幼児教育学科のポリシーや教育内容を理解するとともに、必要となる学び方の技法（文献検索手法、レポートの書き方等）を身につけている
- ・ 教師・保育者に求められる資質や能力、学校・園における教師・保育者の仕事の実践について理解している
- ・ 乳幼児の発達及び学びの過程、幼児教育・保育で保障すべき保育内容を理解し、保育実践につながる知識や技術を身につけている
- ・ 幼児教育・保育の歴史・現状、行政・制度のあり方を理解し、保育を全体的・総合的に捉える基礎的視点を身につけている
- ・ 現場体験を通して、保育・教育現場の体制や教師・保育者の業務を体験的に学習している

学びを支える土台となる科目

全学共通科目 「ブダと法然」「必修外国語」「コンピュータ・リテラシー」  
 全学教養科目 「基礎領域（人間の仕組みと活動、病と人間の歩み、日本国憲法、食と栄養、など）」「応用領域（人間と思想、世界の文化、教育事情を知る、生命を考える、など）」  
 関連科目 「教哲学育」「教育史」「教育人間学」「臨床教育学」「学校経営論」「学級経営論」「発達心理学」「比較教育学」「教育法規」「教育評価論」「生涯教育論」「人権(同和)教育」「ICTの活用及び教育」「国際理解教育演習」「宗教教育論」「視聴覚教育メディア論」「仏教音楽教育論」